

♪平成24年8月～10月のできごと

ソーリダーの 毎日 ムムム (ムオイムオイ)

平成24年 11月 第2号

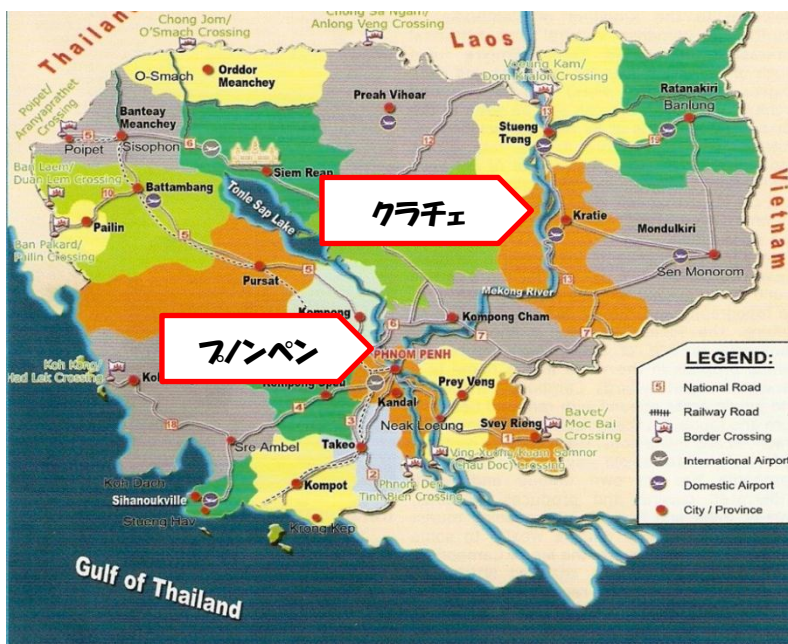
スオスダイ ソクサバーイテー？（こんにちは お元気ですか）日本は今、秋も深まり紅葉が美しく、いろいろな食べ物がおいしく実っているところでしょうか。カンボジアは乾季になりました。

カンボジアに来て、約4か月が経ち、任地・クラチェの町での生活にも慣れてきました。今回はクラチェの町の様子や配属先の学校のことを紹介します。

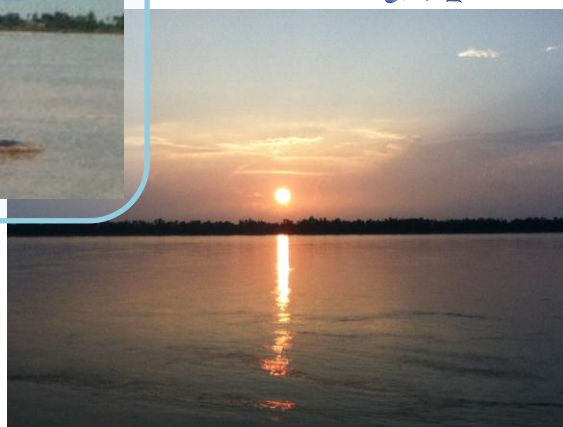
クラチェってどんなところ？

バスで10時間？！

クラチェは、首都・プノンペンから北東に約350kmの場所に位置し、地図上では、そう遠くない場所にある州です。プノンペンからクラチェは、バスで行くことができますが、道は細く、でこぼこ…。そして、道を歩いている人や牛をよけながら進むため、早くても6時間かかります。遅い時は、10時間ぐらいかかります。地図上では近くても、実際に行ってみると、少し遠く感じます。



プサオット



メコン川のひみつ♪

クラチェに流れているメコン川には、野生の淡水イルカが生息しています。クメール語で「プサオット」と呼ばれる、このイルカたちを見るために、クラチェの町にはいつも欧米等からの観光客がたくさん来ています。そのため、町の規模の割には観光客やお店も多く、活気があります。メコン川の夕日は本当にきれいですよ。私は、すぐにこの町が好きになりました。

クラチェ州小学校教員養成校



私の配属先・クラチェ州小学校教員養成校は、メコン川の川沿いにあり、小学校の教員を目指す学生たち（18～21歳くらい）が通う2年制の学校です。ほとんどの学生は敷地内の寮に住んでおり、現在は2年生の66人が通っています。新1年生は12月に入学する予定！学生たちは2年間勉強し、卒業したら、クラチェ州内の小学校の先生になります。

また、敷地内には付属小学校が併設されています。しかし、校舎が小さく、教員の数が足りないため、小学生は1つの学年が2つのグループ（午前の部と午後の部）に分かれており、学校で過ごすのは半日のみ。午前と午後は1週間ごとに交代するそうです。

7:00～11:00

午前は4時間授業があります。1時間目は7時に始まるため、学生たちは7時前には登校し、国歌を歌い、国旗を掲揚します。

11:00～14:00.

3時間の昼休みです。学生も先生も一度、寮や家に帰り、ご飯を食べて、昼寝や水浴びをします。暑い時間帯なのであまり活動しません。

14:00～17:00

午後は3時間授業があります。授業が終わると学生たちは寮や家に帰ります。小さな寮の中で洗濯や炊事を行います。



私は、この学校で情操教育（体育・音楽・図工）の指導をします。次号では活動の様子を紹介していきたいと思います。カンボジアではどのようなことが求められているのでしょうか。

固有名詞の出会いを大切に



私の名前は「涼子」ですが、クメール語の名前「ソーリダー」も同時に名乗っています。これは、日本の訓練所での先生が、私のイメージから考え、つけてくれた名前です。

日本語の「涼子」という意味とは少し違って、「ソー」は、「シルバーやゴールドのネックレス」、「リ」は「女の子」、「ダー」は「石」…と、分解してしまうとちょっと意味の分からない感じになります。しかし「ソーリダー」とまとめると、かわいらしい響きになり、元気で明るいイメージの名前になるそうです。

私はこの名前をととても気に入っています。「涼子」と呼んでくれる人もいますが、クメール語には「りょ」という発音がないため、ほとんどの人が「ようこ」か「ゆうこ」になってしまいます。「ソーリダー」と呼ぶ人もいますが、仲良くなってくると「ソー」を省略して「リダー」と呼ぶ人もいます。どちらにせよ、名前を呼んでもらえるというのうれしいことですね。

二本松の訓練所で学んでいたころ、「現地での固有名詞の出会いを大切に」という話を聞きました。ただの「日本人ボランティア」、「体育と音楽と図工の先生」と認識されるだけでなく、現地の人たちから名前と呼ばれ、親しんで声をかけてもらえるような存在でありたいと日々思って活動しています。

クラチェにきてまだ3か月ほどですが、町のいろんなところで「リダー！どこへいくの。」「涼子、もうご飯食べた？」などと声をかけてもらえるようになり、喜びを感じています。